

学校図書館だより

2023年 10月

ノートルダム学院小学校 図書室

読書週間2023

標語「私のペースでしおりは進む」

終戦の2年後の1947（昭和22）年、まだ戦争の傷あとが日本中のあちこちに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と、出版社・取次会社・書店と図書館が力をあわせ、そして新聞や放送のマスコミも一緒になり、第1回「読書週間」が開かれました。第1回「読書週間」は11月17日から23日でした。これはアメリカの「チルドレンズ・ブック・ウィーク」が11月16日から1週間であるのにならったものです。各地で講演会や本に関する展示会が開かれたり、読書運動を紹介する番組が作られました。

いまの10月27日から11月9日（文化の日をはさんで2週間）になったのは、第2回からです。それから70年以上が過ぎ、「読書週間」は日本中に広がり、日本は世界のなかでも特に「本を読む国民」の国となりました。今年の「読書週間」が、みなさん一人ひとりに読書のすばらしさを知ってもらうきっかけとなることを願っています。



10月の目標

どくしょしゅうかんさんか
読書週間イベントに参加しよう！
図書委員会が計画！



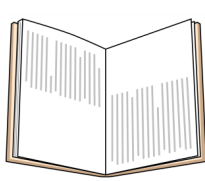
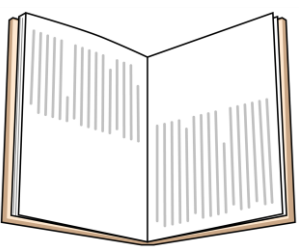
図書室の開館時間
朝8時すぎから
夕方4時ごろまで
学年・学校行事や短縮授業などで閉館することがあります。

★ ☆ 図書委員会より ☆ ★
今年度も図書委員会で読書週間を盛り上げるため、しおりを作りました。今回は、「ND読書100選」のシールをまとめて5枚受け取るごとに、しおりをもらえます。今までにたくさん読んでいる人にも、しおりをプレゼントします。また、しおりではないものがほしい！という高学年のために、カード型のしおりにイラストなどを描いてラミネートをすることもできます。読書週間に、「ND読書100選」の本を片手に図書室に来てください。10/27から朝・フレの時間帯に、お待ちしております。

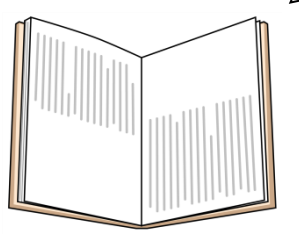
「みなさん、読書の秋を楽しまししょう！」

〇〇先生のおすすめの本！

花岡教頭先生のおすすめ！ あまんきみこ（ポプラ社）
「車のいろは空のいろシリーズ 白いぼうし」
心優しい松井さんの運転する空色でぴかぴかのタクシーには、いろいろなお客さんが乗り込みます。松井さんとお客さんの素敵なお話の世界をみなさんものぞいてほしいです。そして、私も一度松井さんのタクシーに乗ってみたいです。
★右は昨年発行された22年ぶりの最新刊！



5年担任 小家石先生のおすすめ！
「とんび」重松清（角川文庫）
日本一不器用なお父さんと息子のアキラくんのお話。二人だけの家族がケンカをすると「独りぼっち」と「独りぼっち」が二人になってしまう。というエピソードが印象的でした。



6年担任 梅下先生・英語科 吉本先生のおすすめ！
「きまぐれロボット」星新一（角川つばさ文庫）
テンポよく展開される起承転結が心地よい一冊！博士の発明が巻き起こす騒動をユーモラスに描いた作品！ちょっとした時間に読みやすい本です！（梅下先生）
短いお話がたくさん入っているショートショートというジャンルです。めずらしいアイデアや意外な結末が魅力ですが、文章はシンプルで幅広く楽しめます。（吉本先生）

